第5学年 理科学習指導略案(3/14)

指導者 神原 欣也

1. 単元名

もののとけかた

2. 本時のねらい

・ホウ酸は水の温度によってとける量が決まっていることから、飽和水溶液の温度を下げたときの析出や、析出したものが再び温度を上げることによってとける現象を 理解することができる。

3.本時の展開

学習活動	センター指導主事の支援
1.センターの先生の話を聞く	様々な結晶を紹介していただく。
2.本時の課題をつかむ	
3.水の温度を上げてホウ酸をたくさんとかしたホウ酸水をそのままにしておいたら、ホウ酸のつぶが出てきた。これはどうしてだろうか。	
4.【実験ア】ホウ酸が出てきたホウ酸水 をあたためる。	
5.【実験イ】ホウ酸が出てきたホウ酸水をろ紙でこし、冷やす。	
6.実験の結果から、自分なりの考えをまとめる。	
7.センターの先生のお話を聞く	実験の結果から、どんなことが分かるの か、分かりやすくまとめをしていただきた い。

4.評価

ホウ酸は水の温度によってとける量が違うことをもとに、実験結果について考えることができたか。

- 5. 事前の打ち合わせの内容
- 6.授業を終えて
- 7. 本授業の生かし方
 - A 来年度もお勧め B 改良すればお勧め C 勧められない